



地形・地質

地域の中央を相模川が南北に流れ沖積平野を形成し、東側には相模原台地が広がり、西側には相模川の支流によって区切られた台地群と大磯丘陵が分布しています。地質は、地域の大部分は第四紀層で占められています。

相模川低地・相模原台地の地層層序表

時代	地質層序		地下水			
第四紀	更新世	沖積層				
		後期	立川ローム層	立川段丘相当礫層	●	
			武蔵野ローム層	武蔵野段丘相当礫層	●	
		中期	相模層群	下末吉ローム層 (吉沢ローム層)	下末吉層 (吉沢層)	○
				土屋ローム層	土屋層	○
			七国峠ローム層	七国峠層		
			早田ローム層	早田層	○	
			藤沢ローム層	藤沢層		
			下庭ローム層	下庭層	○	
			雑色ローム層	大庭砂礫層 (雑色層)	○	
		前期				
			屏風ヶ浦層 長沼層			
		第三紀	鮮新世	鷹取山層・上総層群		
中新世	丹沢層群					

凡例
 ○ 被圧地下水
 ● 不圧地下水

